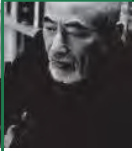


奨励賞



設計担当者

竹原義二

無有建築工房、大阪府建築士会

幼稚園／山口県山口市

小郡幼稚園

構造 | 木造(軸組工法)

階数 | 地上1階

敷地面積 | 4,664.69㎡

建築面積 | 1,222.67㎡

延べ面積 | 1,062.64㎡

竣工 | 令和2年3月20日



1



2



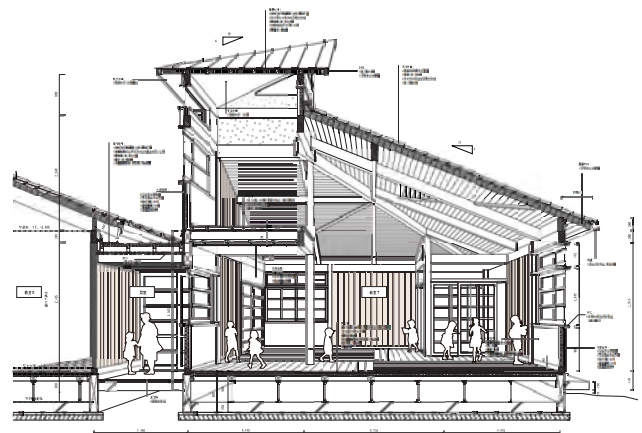
3



4



配置図

教室7
断面パース

1 全景

3 水の棟間室より光の棟を見る

写真1・2・3…新建築社写真部

2 園児たちの生活に寄り添う石州瓦

4 講堂棟内部を見る

写真4…絹巻豊

選評

集落のような閑舎を眺めながら坂道を登ってアプローチし園庭に足を踏み入れた瞬間、子どもたちの歓声と元気いっぱいに駆けめぐる姿に驚いた。園庭は元々棚田であった土地の高低差を生かして複雑な起伏を持つ空間として整備されている。見ようによっては危ない場所もあるが、子どもたちは軽やかにそれを回避する術を身につけている。

9,000本に及ぶ地元産スギ材を活用して造られた木造の管理棟、講堂、教室がこの園庭

を囲むように、その高低差に沿って配置され、敷地北側の集落と雨乞山に開かれている。

教室は室単位で石州瓦の屋根がかけられ、天窓からは光が差し込み、児童のスケールにあった空間を形成し、3歳・4歳・5歳、各々の教室が少しずつ雁行しながら土間を介して集まってひとつの「木の家」構成している。そして4つの「木の家」が大きく雁行して配置され集落のような姿を形成し、それらの軒先と土間は、子どもたちが園庭から行き止まりなく通り抜けられ

るようになっていて、内外が連続する空間には解放感があふれている。このような教室群に対して講堂は大伽藍のような力強く静謐な空間となっていて、その対比が印象的である。

園長先生の教育にかける情熱と建築家をはじめとする関係者の力の糾合によってできたこの建築は、子どもたちの五感に訴えかけ、自然へと向かう感性を育む類まれな建築だと感じる。その豊かさは現地を訪れて初めて実感できるものであった。(箆島 亮)